

ふくい街角景気速報

(平成29年7月分)

調査期間 平成29年7月10日～25日 (回答率：90%)

概況

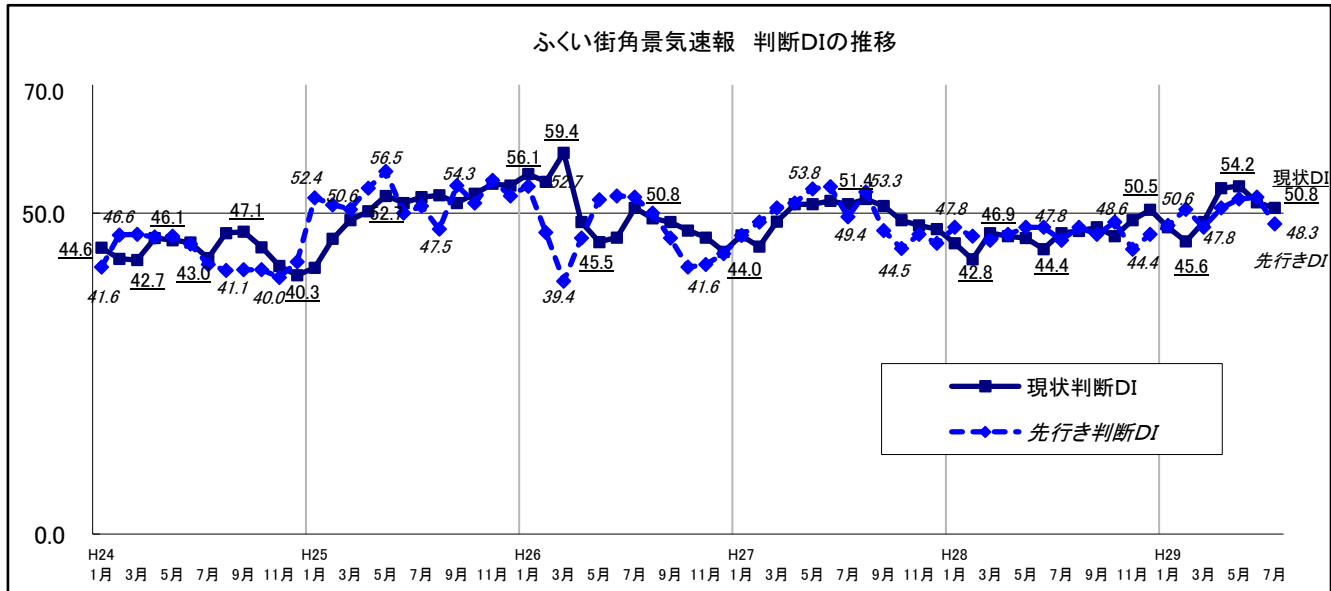
景気の現状判断DIは50.8となり、前月と比べ0.9ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは48.3となり、前月と比べ4.2ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 50.8 (前月比 ▲0.9)

- 家計動向関連では、前月に比べ0.6ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ2.2ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ1.9ポイント低下した。
- (意見の主な内容)
- ボーナスが出たからランチのお客様も戻り、夜も国体の貸切予約が入ってきている。(レストラン)
- 受注案件はそれなりにあるもののドライバー不足、備車(外注)が捕まらない等、まとまらない案件も散見する。(運輸業)

■景気の先行き判断DI 48.3 (前月比 ▲4.2)

- 家計動向関連では、前月に比べ6.1ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ3.1ポイント低下した。
- 雇用関連は、前月と同水準であった。
- (意見の主な内容)
- 夏休みが終わり県外客が減少するため。(小売店)
- 為替が不安定で、輸出を伸ばす力になってない。また、国内消費の動向も先行き不透明感が強い。一方、人手不足が深刻化しており、コストアップも含め、足を引っ張っている。(繊維製造業)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	9	6	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
	計	100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H29 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		45.6	48.6	53.9	54.2	51.7	50.8	▲0.9
家計動向関連		41.8	48.4	51.1	54.5	48.3	48.9	+0.6
小売		41.9	45.2	50.0	53.9	50.0	48.4	▲1.6
飲食		25.0	66.7	50.0	75.0	25.0	75.0	+50.0
サービス		45.8	52.1	54.2	54.5	47.7	45.8	▲1.9
企業動向関連		46.0	46.1	53.8	51.5	53.0	50.8	▲2.2
製造業		40.5	42.0	52.2	53.3	55.4	47.8	▲7.6
非製造業		57.5	55.0	57.5	47.5	47.5	58.3	+10.8
雇用関連		57.7	55.8	63.5	59.6	59.6	57.7	▲1.9

○回答別構成比

	年 月	H29 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなっている		1.1%	1.1%	3.3%	3.3%	2.2%	3.3%	+1.1
やや良くなっている		10.0%	16.5%	25.6%	27.8%	23.3%	20.0%	▲3.3
変わらない		62.2%	61.5%	55.6%	53.3%	55.6%	56.7%	+1.1
やや悪くなっている		23.3%	17.6%	14.4%	13.3%	16.7%	16.7%	+0.0
悪くなっている		3.3%	3.3%	1.1%	2.2%	2.2%	3.3%	+1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H29 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		50.6	47.8	50.8	52.2	52.5	48.3	▲4.2
家計動向関連		53.3	50.5	50.0	50.0	51.1	45.0	▲6.1
小売		53.2	50.0	51.6	50.0	50.8	45.2	▲5.6
飲食		75.0	66.7	50.0	50.0	50.0	25.0	▲25.0
サービス		47.9	47.9	45.8	50.0	52.3	47.9	▲4.4
企業動向関連		44.4	41.4	50.0	51.5	51.5	48.4	▲3.1
製造業		42.9	40.9	51.1	53.3	52.2	46.7	▲5.5
非製造業		47.5	42.5	47.5	47.5	50.0	52.8	+2.8
雇用関連		55.8	53.8	55.8	61.5	59.6	59.6	+0.0

○回答別構成比

	年 月	H29 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなる		2.2%	2.2%	2.2%	1.1%	3.3%	2.2%	▲1.1
やや良くなる		22.2%	15.4%	22.2%	26.7%	18.9%	20.0%	+1.1
変わらない		53.3%	57.1%	53.3%	53.3%	63.3%	48.9%	▲14.4
やや悪くなる		20.0%	22.0%	21.1%	17.8%	13.3%	26.7%	+13.4
悪くなる		2.2%	3.3%	1.1%	1.1%	1.1%	2.2%	+1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計 動向	嶺南	大型小売店	気温の上昇により、エアコンや冷蔵庫が好調に推移している。そのほか、7月に発売された人気のゲームソフトも好調。
		坂井	レストラン	ボーナスが出たからか、ランチのお客様も戻り、夜も国体の貸切予約が入ってきている。
②やや良くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	夏場に向け流入人口が増加している。また、セールも始まった店舗が増えたため売上が上がっており、海水浴、帰省、お盆による需要の増加もみられる。
		坂井	小売店	夏休みに入り、県外客が増加し売上が増加している。
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	売上、買上客数、買上単価が上昇している。
		奥越	土産品等販売店	売上がやや上向きである。
	企業 動向	丹南	電気機械	スマホの新モデルの立ち上がりにより備えた在庫積み上げのため、生産が高水準で推移している。
		福井	化学・プラスチック	需要期に入ってくるのに加え、毎年7月～9月は建材関係のキャンペーン期間で売上げが伸びるため。
		丹南	建設業	受注、売上ともに増えてきている。
		福井	不動産・建設	不動産賃貸件数が増加している。
		福井	不動産	業種特有の季節的繁忙期のためもあるが、売上、受注共に上昇しており、顧客の積極的購買意欲も感じられる。
		福井	不動産	業種特有の季節的繁忙期のためもあるが、売上、受注共に上昇しており、顧客の積極的購買意欲も感じられる。
③変わらない	家計 動向	福井	商店街	商店街近隣の特に駐車場の在庫状況や、大型店の売上げの状況等々の判断から大きな変化は感じられない。
		福井	小売店	夏のセールにより売上増加傾向であるが、前年同時期と比較するとあまり変化なく、景気が良くなっているとも悪くなっているとも感じない。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	中元ギフトセンターは、早期割引会期でもあり、前年と比較して売上は増加している。近隣の駅前スーパー閉店によるお客さまの取り込みも目に見える形とは言えず微増である。
		福井	自動車販売・整備	7月15日～17日までの3日間福井県産業会館にて新型カマリの発表会を開催したがお客様の動向を見ても良くなっているとは感じない。
		嶺南	旅館	北陸新幹線金沢開業効果も今年3月頃から無くなったのか、福井県内の観光は開業前に戻ったかのように低迷している。今後も大きな伸びは期待できないが、材料費値上げにより、前年と同等の受注があれば必然的に売上げは上昇する。
	企業 動向	奥越	繊維	受注面ではなんとか数量を確保できているが、国内消費の低迷により不安定な状況が続いている。
		福井	石油関連製品販売	石油燃料の使用量は省エネ化により減っているが、北陸新幹線建設に伴う軽油の販売量は増加しており、プラスマイナスで変わらない。
		福井	運輸	受注案件はそれなりにあるもののドライバー不足、備車（外注）が捕まらない等、まとまらない案件も散見する。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	学生の中にはまだ就職が決まらない学生も見受けられるが、中小企業からの追加募集もあるところがあり全体的には変わらない。
		福井	学校就職担当者	学生の中にはまだ就職が決まらない学生も見受けられるが、中小企業からの追加募集もあるところがあり全体的には変わらない。
④やや悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	暑過ぎるためか駅周辺の集客等に弱さが見られる。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	少子高齢化の進展により消費量の減少が続いていると思う。トレンド、流行の物・サービスの一時的に売上の増加はあっても消費絶対量は下がり続けている。
		坂井	スーパー	前年同時期と比べ、客数・客単価ともに減少しており、売上が減少している。
		丹南	スーパー	競合店のリニューアルにより影響がある。
		福井	ビジネスホテル	昨年の夏期までがずっと好調だった事もあるが、昨年対比で割り込む状態が続いている。
	企業 動向	福井	眼鏡	ボーナス時期を迎えて例年売上が向上する時期であるが今年は伸び悩んでいる。例年のシーズン商品であるサングラスの売上の悪さが要因に挙げられる。
		嶺南	食品	酷暑、ゲリラ豪雨など異常気象の消費への影響が懸念される。
		坂井	IT関連	受注量の減少による。
		福井	繊維	受注がダウンしていて、先行きもあやしい。客先からもいい話がこない。
⑤悪くなっている	企業 動向	福井	繊維	受注がダウンしていて、先行きもあやしい。客先からもいい話がこない。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由		
①良くなる	分野 企業 動向	丹南	電気機械	スマホの新モデルの立ち上がりに向け、主要顧客からの需要の回復が見込まれる。		
		嶺南	運輸	大飯原発の再稼働に向けての工事が増加する。		
②やや良くなる	家計 動向	嶺南	商店街	秋物に移行する時期のため単価アップや秋の祭りに対する需要が増えると考えられる。弊社でもイベントを開催するため一気に売上が上がると思う。		
		福井	小売店	自店の隣地に大型食品スーパーマーケットが開店して、周辺の集客環境が改善し、客数が増加すると予想する。		
		福井	百貨店、ショッピングセンター	下げ止まりとなっており、前年を超えられる見込みである。		
		坂井	観光物産店	プレ国体などのイベントで流入客数が増加する。		
		坂井	観光・レジャー施設	当施設では、昨夏導入したアトラクションをはじめ、今夏は期間限定イベントもいくつか開催を予定している。今夏の天候も安定しているという予報もあるため、利用客の増加を期待している。		
	企業 動向	福井	化学・プラスチック	秋の需要期に入るため。		
		嶺南	コンクリート製品	7月、8月に公共工事の受注があるため。		
		丹南	建設業	受注、売上ともに増えてきている。		
	雇用	嶺南	労働相談員	嶺南地方の景気状況は、高浜原発が本格稼働し、小浜地域の新規求人倍率が上昇しており、それに伴い、敦賀地域にでも小浜に追従するような傾向が出てきている。また、これから、夏の観光シーズンに入り、嶺南地域の活性化の一躍になるのではと考える。		
	③変わらない	家計 動向	丹南	小売店	原材料の値上げが予想されるため。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	個人消費の回復の兆しには程遠い状況。		
嶺南			大型小売店	季節要素の無い期間のため売上増加は期待はできない。		
嶺南			旅館	先行予約状況に好転が見られない。		
企業 動向		奥越	繊維	為替が不安定で、輸出を伸ばす力になってない。また、国内消費の動向も先行き不透明感が強い。一方、人手不足が深刻化しており、コストアップも含め、足を引っ張っている。		
		福井	石油関連製品販売	消費が増える見込みが無い。中小企業では夏の賞与も少ない様である。		
		福井	IT関連	受注見通しを基に判断。		
		福井	運輸	現状は、取引先に対してドライバー不足による値上げ等を進めているところであるが、多少の値上げは、人件費、求人活動の経費などで相殺されてしまい、劇的な改善にはつながらない。		
		④やや悪くなる	家計 動向	丹南	商店街	節約志向や買い控えモードが続いているように感じる。
				嶺南	商店街	気象予報でも厳しい暑さが続くとの事で集客に期待は出来ない。
坂井	小売店			夏休みが終わり県外客が減少するため。		
奥越	百貨店、ショッピングセンター			福井までの自動車専用道路開通で、高額商品等を買いに福井方面まで出かけていく消費者世代が増え、地元消費が減っていくのではないかと懸念する。		
坂井	スーパー			節約志向の継続や経済情勢の不安定などの影響による。		
福井	ビジネスホテル			季節指数にもよるが、夏休みに比べて、秋期は集客が減少する。		
企業 動向	丹南	繊維	円の先高感による為替変動と国内景気の不透明感による。			
	丹南	眼鏡	高額商品は動きが鈍く、国内の消費が低調である。また、海外からの受注量が減少傾向である。			
	福井	一般機械	客先である建設機械業界は、中国市場の景気回復と排ガス規制特需により、2017年8月までは国内生産は好調であるが、9月以降はこの反動で減少する見通し。			
	丹南	鉄鋼	受注量が昨年より減少している			
	福井	不動産	夏期間は閑散時期であり、今後の2～3ヶ月については景況感は期待できない。			

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)